

【事例】80代女性（Aさん）

■サービス開始時の状況

- ・Aさんは長く1人住まい、膝が悪く手術したものの、歩くだけでなく立つことも不自由な状態でした。
- ・膝の手術とリハビリで2ヶ月程入院した後でしたので、ご本人もかなり不安があり、精神的にかなり不安定な状況でした。
- ・家の中でも転倒リスク他様々なリスクもある状況で、短期記憶障害も見られました。



■当初のケアマネの対応

- ・1人での外出は困難なため、まずは家の中でできる限りリスクなく一人で生活できるように、介護用品のレンタル事業者がトイレやお風呂、寝室までの様々な動線を考え、手すりを各所に設置、お風呂場の椅子のレンタルも開始しました。
- ・日々の介護サービスでは週1回ヘルパーが訪問し、室内の清掃や食事の支援を行い、週2回送迎付のデイサービス利用でリハビリを開始しました。短期記憶障害がみられたため、デイサービスからは利用日には毎回電話を入れてもらうことになりました。
- ・週に1度宅配のお弁当、介護認定を受けた方が利用できる市のゴミ出しサービス、病院に通院するための介護タクシーも契約しています。

■初期の段階での一時的な状況

- ・ひざの痛みが続き不安感が増し、Aさんの希望でデイサービスを1日お休みする状況が続くなど、精神的に落ち着かない時期がありました
- ・ある時、郵便を取りに外に出た際に、転倒し起き上がれないということがあり、ご家族の要望で玄関外の手すり設置工事をケアマネが手配しています。



■ご存知ですか？在宅医療（ケアマネ編）

令和4年は介護のプロであるケアマネージャー（以下“ケアマネ”）について、わかばクリニックのグループ事業所『居宅介護支援事業所わかば』のケアマネが実際に関わった事例も交えご紹介しています。今回はR4.3号で紹介した利用者様のその後をご紹介します。

■その後の状況

(1) 介護サービスの見直し

- ・一時的に回数を減らしたデイサービスですが、足が悪く外に出ることがデイサービス以外にほぼない状況で、デイサービスに行くことがとても楽しみになっていたため、デイサービスは週3回に増やしています。デイサービスでの知り合いもでき、リハビリだけでなく、精神的にも大切な時間になっています。
- ・最初に契約したお弁当が口に合わず、ケアマネが別の一般の宅配弁当を紹介し、現在はそのお弁当を利用しています。



(2) 日々の状況

- ・1年後の介護保険の更新（ケアマネが代行で申請）も介護1の認定を受け、引き続きケアプランに沿った介護サービス（週1回のヘルパーと週3回のデイサービス）を利用しながら、介護サービスを開始した1年前とは違い精神的にも落ち着いて日々の生活を過ごされています。
- ・この1年、ケアマネは数回の介護タクシーの手配や庭の草刈の手配など、色々な生活の困りごとも解決しています。



～解説～

- ・ケアマネが作成するケアプランにより、介護サービスを定期的に利用することで生活のリズムもでき、利用開始から1年も立てば、生活の安定・精神的な安定が築けているのがお分かりいただけると思います。また、様々な介護事業者が関わることで日々の見守りにもなり、離れたご家族の安心にもなっています。

☆ご質問・ご相談等、
お気軽に声掛けください。

安心を
お届けする

wakaba CLINIC

熊本市東区若葉3-1 3-20
096-285-6014 web : wakaba-cl.jp